

問1 日本の多くの県庁所在地は、河川の河口部に形成された平坦な土地に位置しています。この地形の成り立ちや特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山形公立入試 類似)

1. 川が海や湖に流れ込む場所に細かな土砂が積み重なってきた、標高が低く水はけの悪い土地である。
2. 川が山地から平地に出る場所に大きな岩石や砂が積み重なってきた、緩やかな傾斜のある土地である。
3. 河川の浸食作用や土地の隆起によって形成された、周囲よりも一段高くなっている平坦な土地である。
4. 火山の噴火によって噴出物が周囲に積み重なり、中央部が大きくくぼんで形成された土地である。

問2 三陸海岸などの沿岸部において、鉄筋コンクリート製で高い位置に避難スペースを持ち、らせん階段などが備えられた「避難タワー」が整備されている主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉公立入試 類似)

1. 地震後に発生する津波から、近くに高台がない場所でも一時的に命を守るため
2. 集中豪雨による土石流から逃れるため、鉄筋コンクリートで土砂を受け止めるため
3. 火山が噴火した際に放出される火山灰や火砕流を避けるためのシェルターとするため
4. 干ばつによる水不足に備え、高い場所に飲料水を蓄えるための貯水施設にするため

問3 川が山間部から平地へと流れ出るところに見られる扇状地では、古くから果樹園として土地が利用されることが多くあります。このように、扇状地が水田よりも果樹園としての利用に適している理由を説明したものととして、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 山地から運ばれた礫や砂が多く堆積しており、水が地中にしみ込みやすく水はけが良いため。
2. 標高が低く周囲から水が集まりやすいため、常に湿った状態を好む作物の栽培に適しているため。
3. 粘土質の土壌が厚く堆積しており、水を地表に溜めておく力が非常に強い。
4. 地表が平坦で保水力が高いため、灌漑施設を作らなくても大量の水を確保できるため

問4 日本の気候区分において、太平洋側の気候に見られる「冬に晴天が多く、乾燥する」という仕組みの背景にある、地形と気流の関係を説明したものととして最も適切なものを選びなさい。 (2017年 三重公立入試 類似)

1. 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降りるため。
2. 太平洋側を流れる暖流によって空気が温められ、上昇気流が発生することで雲が消散し、乾燥した天気が続くため。
3. 冬になるとシベリア高気圧が南下し、太平洋の湿った空気が日本列島に到達するのを完全に遮断してしまうため。
4. 瀬戸内海沿岸と同様に、北側の中国山地と南側の四国山地の両方によって湿った季節風が遮断されるため。

問5 日本列島の周辺には複数のプレートの境界があり、環太平洋造山帯に属しています。この地形的背景が日本の自然環境や災害に与えている影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 岐阜公立入試 類似)

1. プレートの沈み込みによって地殻が押し上げられるため、国土の約4分の3が山地や丘陵地となっている。
2. 古い造山運動によって形成されたため、石炭などの地下資源が豊富に埋蔵され、平坦な土地が多い。
3. 地殻変動がほぼ終息した安定した地塊であるため、河川の勾配は緩やかで水害のリスクが低い。
4. 火山活動が全く見られない一方で、プレートの摩擦がないため地震の発生回数は世界的に見て非常に少ない。

問6 三陸海岸南部や志摩半島といった地域では、岬と湾が連続する複雑な海岸線を持つ「リアス海岸」が発達している。この地形的特徴を活かして、真珠やカキ、ワカメなどの養殖業がさかんに行われている主な理由として、適切な説明はどれか。 (2026年 山口公立入試 類似)

1. 湾内は外海の影響を受けにくく波が穏やかであり、いかだなどの設備を設置しやすいため
2. 海岸沿いに広大な干潟が形成されており、手作業による収穫作業が容易であるため
3. 海岸線が直線的で水深が浅いため、太陽光が海底まで届きやすく海藻の成長が早い
4. 周辺が平坦な土地であるため、大規模な加工工場や流通センターを建設しやすい

問7 兵庫県豊岡市など、冬季の降水量（降雪量）が非常に多い豪雪地帯で見られる、社会資本や公共施設の工夫についての記述として正しいものを選びなさい。 (2025年 和歌山公立入試 類似)

1. 積雪による破損や視認性の低下を回避するため、信号機を縦型に設置している。
2. 強風による塩害から施設を守るため、すべての信号機に強化プラスチック製のカバーを被せている。
3. 地熱を利用して道路の雪を溶かすため、信号機の支柱内に温泉水を循環させている。
4. 夏場の高温多湿な気候から精密機器を守るため、信号機をあえて横向きに長く設置している。

問8 日本の夏において、気圧配置の影響によって吹き込む季節風の性質と、その主な供給源となる海洋の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 南東の方向から、太平洋の湿った空気を運んでくる
2. 北西の方向から、ユーラシア大陸の乾燥した空気を運んでくる
3. 北東の方向から、オホーツク海の冷たく湿った空気を運んでくる
4. 南西の方向から、東シナ海の乾燥した空気を運んでくる

問9 2011年3月11日に、東北地方の太平洋沖を震源として発生したマグニチュード9.0の巨大地震によって引き起こされた、大規模な津波を伴う震災の名称として適切なものを選びなさい。 (2020年 兵庫公立入試 類似)

1. 東日本大震災
2. 阪神・淡路大震災
3. 関東大震災
4. 新潟県中越地震

問10 ある都市の統計において、年間の降水量が2400mmを超えており、特に12月から2月にかけての降水量が他の月と比べて極端に多くなっている状況が確認されました。このような特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 冬に水分を蓄えた北西の季節風が山脈にぶつかるため
2. 夏に湿った南東の季節風が直接吹き込むため
3. 梅雨から夏にかけての台風による影響が大きい
4. 年間を通じて寒流の影響を強く受け、雲が発生しやすい

問11 岡山市、大津市、富山市、松山市、鹿児島市など、地形や地理的条件が異なる各地の自治体が作成している「ハザードマップ」の内容について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

1. 火山灰の降下範囲や土石流の危険性、洪水の浸水想定区域など、地域の特性に応じた情報が記載されている。
2. 等高線を用いて土地の起伏を正確に表し、主に登山や土木工事の計画を立てるために作成されている。
3. 住宅地、商業地、工業地などの土地の利用状況を色分けし、将来の都市開発の制限を示すために作成されている。
4. 各世帯の正確な位置を把握し、郵便物の配達や選挙の投票所の割り当てを効率化するために作成されている。

問12 自治体が発行する防災資料において、洪水時の浸水想定区域や土砂災害警戒区域、および指定緊急避難場所などの情報を住民に提供する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口公立入試 類似)

1. 住民が地域の災害リスクを正しく理解し、災害時に迅速かつ適切な避難行動をとれるようにするため
2. 地域の土地利用の歴史を記録し、伝統的な景観を維持するための資料とするため
3. 土地の起伏や標高を正確に示し、道路建設などの公共事業の計画を住民に知らせるため
4. 観光客に対して地域の自然環境を詳しく紹介し、エコツーリズムを推進するため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 川が海や湖に流れ込む場所に細かな土砂が積み重なってできた、標高が低く水はけの悪い土地である。	三角州は河口付近に土砂が堆積してできるため、非常に平坦で標高が低いのが特徴です。このため、古くから水田として利用される一方で、大雨による洪水や地震時の液状化、高潮などの自然災害の影響を受けやすいという側面も持っています。他の選択肢は、順に扇状地、台地、カルデラの説明です。
問2	答え 1 地震後に発生する津波から、近くに高台がない場所でも一時的に命を守るため	津波対策では高い場所への避難が原則ですが、平地が広がる地域や避難できる高台が遠い場所では、迅速な移動が困難です。そのため、人工的に高い避難場所を作る「避難タワー」の整備が進められています。これは、三陸海岸のような津波被害が想定される地域の防災対策として、過去の教訓（伝承碑に記された内容など）を現代のインフラ整備に活かした事例と言えます。
問3	答え 1 山地から運ばれた礫や砂が多く堆積しており、水が地中にしみ込みやすく水はけが良いため。	扇状地は、河川が山地から平地に出る際に、運んできた土砂や礫（小石）を堆積させて作った地形です。堆積物の粒が大きく隙間が多いため、雨水や河川水が地下に浸透しやすく、「水はけが良い」という特徴があります。水を溜める必要がある水田には不向きですが、乾燥した環境を好むブドウやモモなどの果樹栽培には非常に適しています。
問4	答え 1 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降りるため。	日本の太平洋側の冬の気候を決定づけるのは、日本列島の中央部を走る山地・山脈の存在です。大陸から吹き付ける湿った北西の季節風は、これらの山地にぶつかり、日本海側に雪や雨を降らせず。水分を失った気流が山を越えて太平洋側に吹き降りる際、乾燥した下降気流となるため、雲ができにくく晴天が続くという因果関係があります。これが太平洋側の気候の大きな特徴です。
問5	答え 1 プレートの沈み込みによって地殻が押し上げられるため、国土の約4分の3が山地や丘陵地となっている。	環太平洋造山帯に位置する日本列島は、複数のプレートが激しくぶつかり合う場所にあります。このプレート運動による圧力で地層が押し曲げられたり、隆起したりすることで、険しい山々が形成されました。その結果、日本の国土の大部分は山地や丘陵地で占められることになり、平地が少なく、河川の勾配が急であるといった日本特有の地形的特徴を生み出しています。
問6	答え 1 湾内は外海の影響を受けにくく波が穏やかであり、いかだなどの設備を設置しやすいため	リアス海岸は、深く入り込んだ湾が連続しているため、外海からの激しい波が直接届かず、水面が年間を通じて安定しています。この「波の穏やかさ」という環境が、真珠やカキを育てるためのいかだを浮かべたり、網を設置したりする養殖業に非常に適しています。一方で、平地が少ないため大規模な都市開発や農業には向きにくいという側面もあります。
問7	答え 1 積雪による破損や視認性の低下を回避するため、信号機を縦型に設置している。	豪雪地帯では、雪による被害を最小限にするための独特な景観が見られます。その代表例が縦型の信号機です。これは、信号機の灯火（青・黄・赤）を縦に並べることで、各ライトの上部に雪が溜まるのを防ぎ、雪の重みによる故障や、ドライバーから信号が見えなくなるリスクを軽減させるための仕組みです。これは日本の気候区分に応じた生活の知恵といえます。
問8	答え 1 南東の方向から、太平洋の湿った空気を運んでくる	日本の夏は、太平洋上で発達する太平洋高気圧から、大陸側の低気圧に向かって風が吹きます。この風は南東の方向から太平洋の湿気を大量に含んで吹き込むため、高温多湿な日本の夏の特徴を作り出します。北西から吹くのは冬の季節風です。
問9	答え 1 東日本大震災	2011年に発生したこの震災は、地震そのものの名称である「東北地方太平洋沖地震」に対し、それによってもたらされた未曾有の災害全体を指す名称です。特に三陸海岸などのリアス海岸では、湾の形によって津波が高くなりやすく、甚大な被害が発生しました。1923年の関東大震災は火災が、1995年の阪神・淡路大震災は都市部の建物倒壊が主な被害要因であり、震災ごとに異なる特徴があります。
問10	答え 1 冬に水分を蓄えた北西の季節風が山脈にぶつかるため	日本海側の気候では、冬にシベリア方面から吹き出す北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる山脈にぶつかることで、雪や雨として多量の降水をもたらします。そのため、冬の時期に降水量が突出して多くなるという世界的な豪雪地帯特有の傾向を示します。
問11	答え 1 火山灰の降下範囲や土石流の危険性、洪水の浸水想定区域など、地域の特性に応じた情報が記載されている。	ハザードマップは、鹿児島市であれば火山の噴火被害、大津市や岡山市であれば河川の氾濫や浸水など、その土地特有の自然環境に基づいたリスクを反映させる必要があるため、地域によって記載される内容が異なる。
問12	答え 1 住民が地域の災害リスクを正しく理解し、災害時に迅速かつ適切な避難行動をとれるようにするため	ハザードマップは、自然災害による被害の可能性を可視化することで、住民の防災意識を高め、避難のタイミングや経路を事前に検討させる役割を担っています。これにより、実際の災害発生時に混乱を避け、命を守る行動につなげることが最大の目的です。